



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリー：変化をもたらす

●会長 白木 誠一
●幹事 古田 哲朗

No.1605 平成 30 年 03 月 07 日 第 32 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

■点鐘

■国家斉唱

■四つのテスト唱和

■来訪者紹介

(会長 白木誠一)

熊本南 RC 高宮宏 君、西川尚希 君、岡田修司 君
熊本東南 RAC 池田郁子 君
見学 井川元儀 様

■誕生祝い

会員
鷺山法雲 会員 3月31日
前田昭博 会員 3月 2日

夫人
草村久美 様 3月16日

■熊本南 RC より創立 60 周年記念式典の案内

平成 30 年 6 月 16 日 (土) ホテル日航熊本
13:45～19:30

■会長の時間

(会長 白木誠一)

姉妹クラブ訪問

板橋南区扶輪社創立 30 周年記念の訪問で総勢 41 名でした。板橋の案内人数は 50 名でどうぞとの事でしたが、熊本東南 RC の人数は予想よりも遥かに多くびっくりしました。到着したらいつものもごとく空港の出迎え大歓迎でした。そしてそのままバスで、2 時半ころに昼食のレストランに案内され、乾杯、乾杯でした。でも飛行機の中で昼食が出たので、夕食と思ひ頂きました。今までは台北のホテルを使っていましたが、今回は新しくできた



板橋の新しいホテルに案内されました。

チェックインして荷物をかたづけると、夕方になり次は演奏会の案内でした。場所は台湾芸術大学内にあり、演奏する交響楽団はエバグループの交響楽団でした。板橋扶輪社はこの台湾芸術大学にも寄付をしているとの事でした。エバ楽団は普段、国家劇場でしか演奏しないそうです。ちなみにエバグループとは世界一の海運会社の evergreen (長榮海運) のグループで、日本での大型トラックに乗っている 40 フィートコンテナにはよく evergreen と書いてあるのを見かけます。演奏会のパンフレットには長榮楽団とも書いてありました。演奏会場では日本から早朝出発した事もあり、子守唄として聞こえてきた方も多かったでしょう。二日目はゴルフ組と観光組に別れ観光組は朱銘美術館を見学しましたが、造形、彫刻美術館で、箱根の森美術館とイメージが似ているようでした。

次に昼食が基隆の近くの観光海岸にある野柳公園で昼食ですが、大変豪華な海鮮料理で、一度にこんなに多くの高級食材を食べたのは初めてでした。伊勢海老があり、アワビ、カニ、ホタテ、それにからすみと沢山の料理に関心しました。その時、ちょっと考えさせられましたが、この食事費用は会からかな? ひょっとして個人負担かなと、あらためて、板橋 RC の勢いにびっくりしました。食事のあとは歩いて石灰岩の野柳公園です。海岸沿いに突き出た半島で堆積岩としての石灰岩の上に火山の溶岩が流れだし、それが褶曲により隆起した後に、柔らかい下の方が浸食され色んな変わった形のものができあがっていました。褶曲により隆起したところは、切り立った壁を見ると堆積岩の地層がよくわかります。女王頭とかコロコロ岩など不思議な形をしていましたね。ゴルフ組も台湾組に勝って喜んで、マッサージで討ち死にしていたようです。さあホテルに帰って式典の準備です。式典での東南 RC の挨拶では、行く前に松本会員から台湾語の挨拶も必要だよと助言を頂き、あわてて、2 日前の職場訪問の時に彌富会員に相談して、最初の 2 行を教えてもらいました。勿論、観光から、式典などいつも通訳をしていただきまして、彌富会員は新入会員として、本当に良いタイミングで入会して頂いたと思ひました。式典が終わると乾杯、乾杯が続いていましたが、青少年交換学生でブラジルからという人もいました。式典が終わるとすぐに今度は夜市も案内をしていただきました。3 日目は孔子廟への観光でした。台湾のお線香は長いですね。60cm くらいあったようでした。孔子が言った「友達より来たり又楽しからずや」が印象に残りました。最後にゴルフ組と合流で、又ぎりぎりの時間までお別れパーティーでした。それからまた、板橋 RC の会員家族の見送りがあり、最後の最後までお世話になった感じです。飛行機には走って、やっと乗りこみました。板橋南区扶輪社会員と家族の方には感謝申し上げたいと共に、勢いも少し貰ったと思ひます。

■幹事報告 (幹事 古田哲朗)



1) 追立 武 次年度地区社会奉仕委員長より、社会奉仕についてのアンケート。

2) 高山泰四郎 ガバナーエレクト、前田眞実 2018～19 年度地区研修リーダーより、(2019～20 年度会長) 会長ノミニ研修会セミナー開催の案内。

日時 2018年5月19日(土) 13:00～16:00
場所 ホルトホール大分
出席義務者 会長ノミニ

3) 多良木RCより、創立50周年記念式典の案内。

日時 2018年4月14日(土)
記念式典 13:00～、祝賀会 17:30～
場所 記念式典 あさざり町須恵文化ホール、祝賀会
パルティール福寿庵
登録料 10,000円

4) 熊本中央RCより、創立30周年記念式典・祝賀会の案内。

日時 2018年5月26日(土)
場所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
登録料 10,000円

5) 例会終了後に第9回定例理事会を開催いたします。

今後の行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2018年 3月10日(土)・11日(日)	会長エレクト研修セミナー	大分県大分市	ホルトホール大分	白石繁
3月11日(日)	益城復興バス落成譲渡式	熊本県上益城郡益城町	益城町立広安西小学校グラウンド	案内中
3月16日(金)・17日(土)	地区大会	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル・熊本市民会館	案内済み(2/5締め切り)
3月31日(土)	熊本城東RC創立30周年記念式典	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル	全員登録
4月8日(日)	地区研修・協議会	大分県大分市	ホルトホール大分	次年度委員長
4月15日(日)	ディスカッションリーダー(DL)スキルUPセミナー	熊本県熊本市	熊本県民交流館パレア	案内中
5月19日(土)	会長ノミニ研修セミナー	大分県大分市	ホルトホール大分	2019～2020年度会長

■委員会報告

(職業奉仕担当委員/米山奨学生カウンセラー 宮川義行)

今後の予定のの件
米山奨学生修了式の報告



■委員会報告

(姉妹クラブ担当委員 中島祐爾)



台湾訪問の件報告

■委員会報告

(会報・雑誌担当委員 村瀬直久)



「ロータリーの友3月号」紹介

- ・3月は水と衛生月間
- ・3月12日～18日は世界ローターアクト週間

■出席報告

(出席・プログラム担当委員 緒方公一)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
02月21日	44 (免3) 41	27	7	34	82.93
03月07日	44 (免3) 41	27			65.85

出席免除

02月21日 住江正治 鷲山法雲 島村徹男
03月07日 住江正治 鷲山法雲 島村徹男

欠席者(7名)

02月21日 内田敏視 山本浩之 渡邊一弘
西村陽介 益田敬二郎 小松野正彦
山本修三

今度の100%出席の日は 03月28日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 横山佳之)



◎高宮宏、園田修司、西川尚希(熊本南RC) 3,000円

本日は熊本南RC創立60周年記念式典の案内にお邪魔しました。多数のご参加お待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。

◎中島祐爾 10,000円

台湾板橋南區扶輪社創立30周年記念式典の訪問お疲れ様でした。大変な歓迎で、また、楽しく3日間過ごせました。ありがとうございました。

◎白木誠一 5,000円

熊本南RCの方の創立60周年のための訪問ありがとうございました。歓迎申し上げます。

◎永野昭一 5,000 円

台湾訪問の会員の皆様、大変お疲れ様でした。特に、姉妹クラブ担当の中島祐爾会員には大変お世話になり、感謝申し上げます。私も初めての台湾訪問でしたが、楽しい3日間でした。来年は台湾から35周年に来られますので、おもてなしをしなければと思っています。

◎佐野茂 5,000 円

姉妹クラブ訪問ご苦労様でした。多くの方々からレポートをいただきありがとうございます。感謝感激です。居ながらにして板橋南區扶輪社に行った感じです。特に彌富様には訪問先の写真をその都度頂き、ありがとうございました。

◎宮川義行 5,000 円

台湾訪問、お疲れ様でした。皆さん無事で何よりでした。本日の昼食が中華ならもっとよかったですね。3月3日メルパルクで米山奨学生の修了式があり、5名が卒業しました。翁君と一緒に出席しました。英語のプレゼンで日本一になった奨学生や彼らを温かくお世話してきた人吉や山鹿など遠くのRCの努力がよく伝わった修了式でした。本日は南RCの高宮様、西川様、園田様のご来訪を歓迎します。井川様ご見学ありがとうございます。郁子ちゃん、ご結婚そろそろおめでとう。

◎吉田嘉昭 3,000 円

台湾訪問お疲れ様でした。久しぶりの例会出席です。仕事で3回連続欠席しました。メイクアップはすべてeクラブでした。

◎内田信行 3,000 円

台湾30周年記念式典お疲れ様でした。何事もなく無事に帰れたこと、又、板橋南區扶輪社の歓迎に感謝してスマイルします。南クラブの方のの来訪を歓迎して。

◎前田日出夫 3,000 円

台湾板橋南區扶輪社創立30周年記念式典参加のみなさん、大変お疲れ様でした。新しく入られた会員の方々もすっかり馴染まれたようでよかったです。それと、中島会員はゴルフも2日間プレイされた上に、みなさんのお世話もされ、大変お世話になりました。

◎小畑成司 3,000 円

白木会長、古田幹事、みなさん、台湾板橋南區扶輪社訪問お疲れ様でした。うちの福永もお世話になりありがとうございました。私も昨日プーケットより戻って参りました。それと今日は高宮会員以下南ロータリークラブの方々の来訪ありがとうございます。それと、新入会員になられるであろう井川さんの訪問にスマイルします。

◎山田公也 1,000 円

台湾に行かれた皆様、お疲れ様でした。初日は皆様にご迷惑をおかけしました。なのでスマイルします。

■クラブフォーラム

長期戦略委員会 クラブ歌作成委員会 佐野茂



「熊本東南ロータリークラブの歌」歌詞の募集について」

■点鐘

編集者 村瀬直久





クト広報や専門知識収集のための委員会を作り、各クラブには、ボランティアの動員、資金の寄付、補助金の申請、外部団体からの寄付集めを依頼しました。

このプロジェクトについてムアワドさんは次のように話します。「すべての生徒にきれいな水を飲む権利があります。きれいな水は病気を防ぎ、健康に導き、結果的に教育にも好影響を与えるということは誰もが知っていることです。チャレンジの規模が大きければ大きいほど、その成果が人類に与える好ましい影響も大きくなります」

「きれいな水の提供」に焦点を当てたこのプロジェクトですが、レバノンに長く続く宗教間対立を緩和する一助ともなっているとリーダーたちは言います。国内紛争のため、1975～1990年の間に国は分裂、12万人にも上る人びとが命を落としました。近年、レバノンは、さまざまな宗教、政党、派閥からなる連合政権が現れては消えている状況です。

アレイ・ロータリークラブ会長のリナ・シェハイェブさんは、イスラム教ドゥルーズ派の信者ですが、このプロジェクトを通じて、カトリック、マロン派、ギリシャ正教、アルメニア正教、ムスリムなど、さまざまな宗派に属する人びとと協力したことで、違った宗教的・政治的観点について理解を深めることができたと話します。「このプロジェクトは平和と相互理解を推進しています。このような試みは、この国では初めてのことだと思います」

プロジェクトにおけるクラブの役割分担でも、平和の推進に主眼が置かれています。各クラブが特定の学校を任せられますが、自分たちの地域の学校だけでなく、全く違う宗教の地域の学校も担当します。さらにクラブはプロジェクトコーディネーターを任命し、信頼できる業者を探したり、集まった寄付や地区の資金の配分などを行います。

ムアワドさんはこの役割分担についてこう話します。「例えば、ベイルートの北に位置するジュニエという町はキリスト教徒が多いリゾート地です。この町のクラブは、イスラエルとの国境に面した、イスラム教シーア派の地域にある学校を担当しています。政治的・宗教的な考え方が違っていても、子どもたちにきれいな水を提供することに反対する人は誰もいません」

隣国シリアでの紛争が激化し、子どもたちを含む多くの難民がレバノンに逃れてきたため、このプロジェクトはその理由からも大変重要な役割を果たしています。難民となった子どもたちが通う学校にロータリー会員がきれいな水を提供することは、この地域での未来の平和に向けた活動であるとも言えるのです。

このプロジェクトでは、レバノンの教育省、ワールドビジョン、ユニセフ、赤十字からの協力も得ています。赤十字のボランティアは年に数回、各学校から水のサンプルを採取し、検査場へ送っています。

プロジェクト関係者によれば、貯水タンクや浄水フィルターを設置し、継続して監視活動を行うのに、一校2,500米ドルがかかるとのこと。現在200校にきれいな水を提供していますが、目標は、3年以内に1,535校でそれを実現することです。

違いを越えて人びとをつなぐ水プロジェクト

レバノンのすべての学校にきれいな水を提供したい。そんな気持ちが一つになって、宗教、文化、政治的な考え方が異なるリーダーが、違いを越えて活動しています。



健康に渡える学校を

レバノンでは、生徒たちが世界に投資を受けられるよう、きれいな水を供給できる設備をすべての学校に提供しました。

このプロジェクトは、2011年、レバノン北部のロータリー会員が財団の補助金を利用して始め、近隣の学校に浄水フィルターと新しい貯水タンクを設置するというものです。2年後、第2452地区ガバナーのジャミル・ムアワドさんとその他の地区リーダーが中心となって、レバノン国内の全クラブ（24クラブ）に参加してもらい、すべての学校にきれいな水を提供する大規模なプロジェクトに拡大。プロジェ